

いき活かわら版

北九州市「いきがい活動ステーション」(いきステ)の月刊情報紙

第58号

2023年3月20日

発行

いきがい活動ステーション

私たちの生きがい 夢追塾17期生が夢を発表



▲会場で17期生の発表を熱心に聞く参加者たち

2006年に始まった北九州市の「生涯現役夢追塾」が17年目を迎える、このほど17期生が卒塾を前に、約一年間の塾で紡いだ自分たちの「夢」を発表しました。夢追塾で知り合った仲間と作り上げた活動目標は、今後の人生の生きがいとなることでしょう。発表する卒塾生たちの表情は希望に満ちていました。

2グループが活動を宣言

公開プレゼンテーションは2月18日に北九州市環境ミュージアム(八幡東区東田2丁目)で開かれ、



▲発表する「洞海湾ダッシュ」のメンバー

洞海湾にクジラを!

17期卒塾生の「夢語り」のうち最初のグループは田仲義孝さんら5人

まず、すでに様々な活動を実践中の3人の先輩が活動を発表しました。9期生の新富智子さんは障がい者とともに日本舞踊を楽しむ「聖幻会」の活動について、16期生の藤澤佳隆さんは臨床美術というアート活動での地域活動の様子、12期生の山本耕一さんは28年ぶりに帰住した若松でのコミュニティづくりを紹介。3人とも「夢追塾」で得た人脈と学んだことが現在の活動の支えになっていると語りました。



▲発表する「チームゆる場」のメンバー

ルールなしの楽しい場所

もう一つのグループは木村裕昭さんら5人の「チームゆる場」です。による「洞海湾ダッシュ!」。内容は「洞海湾にクジラが棲める環境を維持するために地域、若者、専門家、行政、企業の人を仲間にし、洞海湾の良さや問題点を明確にする活動を推進すること、2024年3月未までに洞海湾の環境活動をメディアで紹介する」というもの。洞海湾がさらに身近なものになるような広範な活動を展開するのだそうです。

プロジェクトの目的は「ゆるやかなつながりで心と体を癒す社会システム(ゆる場)の構築のために、黒崎地域でつなぎたい思いを持つ人を仲間にし、毎月一回、学習や体験をテーマに誰でも参加できる場(寺子屋)を開催することで2023年中に「ゆる場」を黒崎の善定寺に定着さ

せる」としています。善定寺は木村さんが住職をしているお寺。「ゆる場」はいかなるルールも作らないというユニークな場所です。

これからの時代の象徴?

参加者からは、二つのプロジェクトとも、まったく新しい発想であり、これからの新しい時代を象徴しているとの感想や、新型コロナウイルスが問いかけた「これからのコミュニティのあり方」への一つの答えかもしれない、との分析もありました。

18期生を募集中

生涯現役夢追塾は令和5年度の18期生を募集しています。詳細は左記をご参照ください。



「生涯現役夢追塾」は令和5年度の18期生を募集中です。

対象：50歳以上 受講料：5万円
期間：2023年6月～2024年3月
会場：八幡東区ほか(オンラインを含む)
講座：原則として毎週木曜日 18:30～20:00
問い合わせ・資料請求は093・662・3100
メール：info@yumeoi.org

